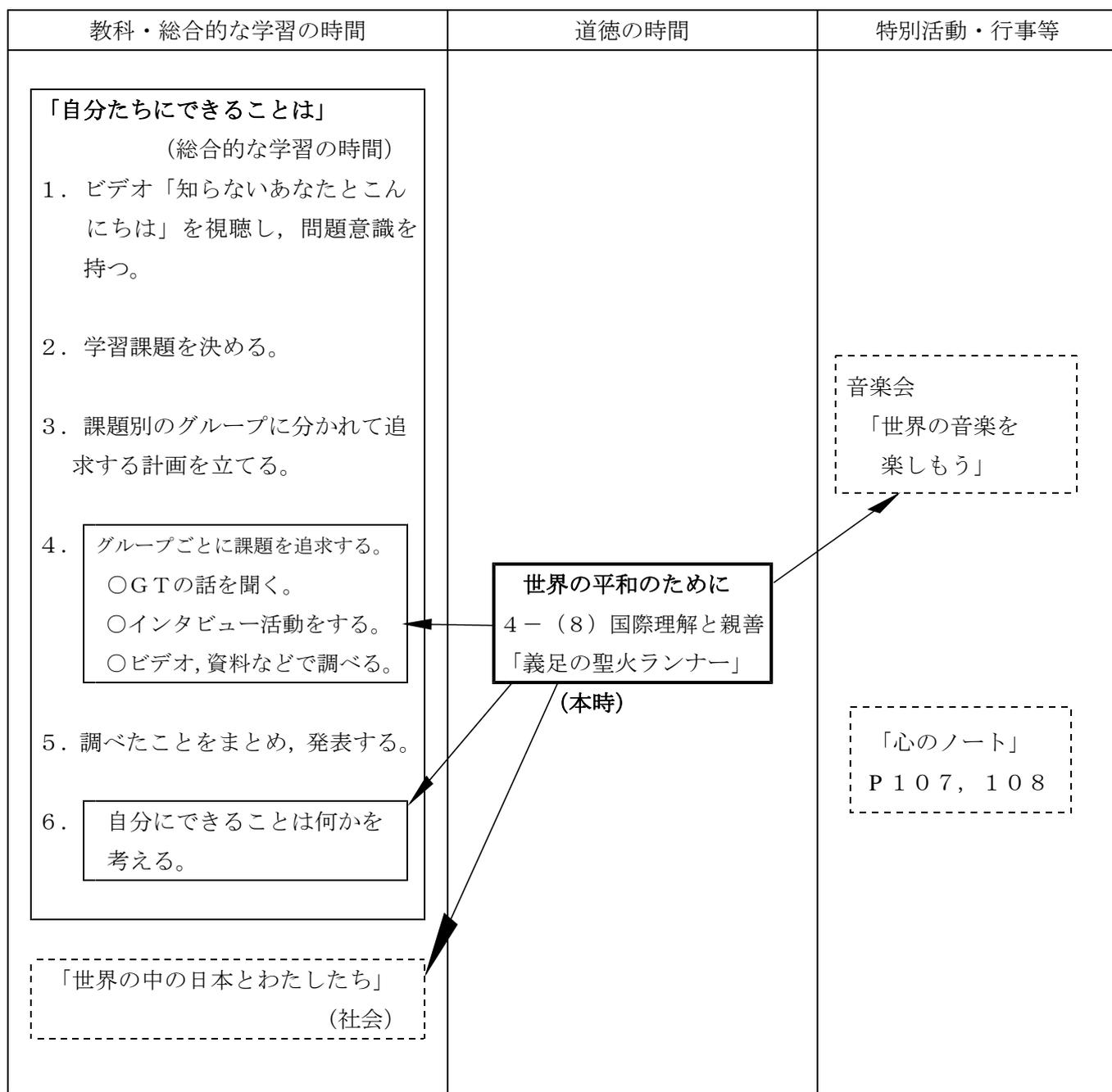


主題と人とのかかわりをつなぐ総合単元 構成図 I



# 第6学年道徳学習指導案

## 1. 主 題 世界の平和を守る 4－(8) 国際理解と親善

資料名「義足の聖火ランナー」 (東京書籍 副読本 )

### 2. 主題設定の理由

#### (1) 子どもの実態について

本学級の子どもたちは学習塾やスポーツクラブ、芸能サークル等に通う子が多く、知的好奇心も高い。読書量が多くほとんどの児童の家庭にはパソコンがあり、インターネットなど様々な情報も得やすい環境で生活している。学級内には韓国の姉妹校交流として渡韓の経験を持つ子もいる。また、最高学年になり、一年生など幼い子のお世話やその教室清掃、あるいは委員会活動などで活躍し、学校生活の中で「役に立っている」という自覚も目覚めている。しかし、六月に実施した自尊感情調査では「将来こういう人になりたい」という展望をもち始めた子も多いが、「社会への貢献」という視点は、まだもたえていない。また、「自分で判断して行動している」と答えたり、「自分が学級や家庭の役に立っている」と強く実感できている子は少ない。

#### (2) ねらいとする価値について

現在子どもたちは、食糧不足に苦しむこともなく何不自由無い生活を送っている。しかし、世界中には貧困や戦争などの恐怖に怯えながら暮らしている人々がたくさんいる。中でも、同じ年頃の子どもたちが、戦争の恐怖に震えながら生活していることを知り、自分の問題として考えることは、21世紀の国際社会を生きていく子どもらにとっては重要である。

##### ○ 人とのかかわりから

将来、国際社会を担っていく子どもたちが、こうした世界の人々の現状に目をむけていくことは不可欠になってくる。自分が日本人として世界の平和のために何ができるのか国際貢献と親善について考え、すすんで実践しようとする心情を育てていくことが大切である。

##### ○ 小中連携から

中学校に進むと総合学習で「職場体験」があり、間近に進学問題があつて、漠然と将来設計を意識していくことになる。本題材は、そうした子どもたちの将来設計に国際貢献・社会貢献という価値の視点からの選択肢を与えてくれるものとする。

#### (3) 資料の活用について

この資料の主人公は、地雷撤去の活動に取り組むイギリス人のクリス・ムーン氏である。自らも活動中に地雷に触れ、右手足を失うが、困難を乗り越え地雷撤去のために立ち上がり、義足のランナーとしてサハラマラソンに参加し、世界中に平和の大切さを訴えている。

授業展開の導入では、長野オリンピックの最終聖火ランナーとして出場している姿(写真)を見せ、まずクリスさんの姿から、その印象を心に刻ませたい。

次に地雷が「恐ろしい兵器」であり世界各地に存在していることや、クリスさん自身が活動中に被害にあったことを知らせるために地雷の写真や副読本を活用する。

右手足を失うというハンデを負いながらもなんとか自分に出来ることはないかと考え、困難に立ち向かおうとするクリスさんの思いを想像するため、後段では世界一過酷なレースといわれるサハラマラソンを走るクリスさんの写真を活用する。

終末においては副読本を活用し、世界中で苦しんでいる人々のために働いている人々の存在を知らせ、自分にも出来ることを考えさせたい。

### 3. ねらい

○地雷を取り除く運動に献身的に取り組む主人公の姿を通して、国際貢献に進んで努めようとする心情を育てる。

### 4. 準備

聖火台に向かう写真 サハラマラソンの写真 地雷の写真

学習プリント（どんな気持ちでチャリティマラソンに挑み続けているのか気持ちを書く）

### 5. 展開

| 段階       | 学習活動と内容   | 指導上の留意点   |
|----------|---|---|
| 導入       | 1. オリンピックの写真を見て気づいたことを出し合う。<br>めあて<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             クリスさんはどんな思いで走り続けているのだろう。           </div>  | ○ 聖火ランナーはとても大事な役目で世界中が注目していることを知らせる。<br>○ 義足の彼がどうして聖火ランナーとして走ったのか問題意識を持たせる。   |
| 展開<br>前段 | 2. 資料「義足の聖火ランナー」を読み、クリスさんの活動と地雷について知る。<br>(1)手足を失ったいきさつを知る。<br>○モザンビークで地雷を撤去する作業中だったこと<br>○カンボジアでも活動していたこと<br>(2)地雷を踏んで手足を失った時の気持ちを考え話し合う。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分まで被害にあうなんて。</li> <li>・ もう地雷撤去の仕事はできない。</li> <li>・ このままあきらめたくない。</li> </ul> | ○ 地雷撤去の活動をし、そのリーダーであったこと、イギリス人であることを知らせる。<br>○ 地雷について知らせ、兵器であることを確認する。<br>○ 写真や地図などの資料を提示し、戦争の遺物である地雷が世界にはまだまだたくさん埋められており、それが爆発したときの恐怖について実感できるようにする。 |
| 展開<br>後段 | 3. 「サハラマラソンを走るクリスさん」の写真を見て、話し合う。<br>○クリスさんの強い気持ちを考える。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が走ることで、世界中の人々に戦争や地雷の恐ろしさを知ってほしい。</li> <li>・ 走ることで地雷撤去の費用を集めることができるのが何よりの喜びだ。</li> <li>・ もっと平和な世界になってほしい。</li> </ul>   | ○ 世界一過酷なマラソンといわれている「サハラマラソンを走るクリスさん」の写真を見せクリスさんの気持ちを考える活動につなげる。<br>○ 挫けそうになる心情にも触れて、地雷に苦しむ人々を支援するためにがんばるクリスさんの思いに気付くことができるようにする。                      |
| 終末       | 4. 世界にはその他にもいろいろな事情で苦しんでいる人々がいることや、そのために働いている人たちがいることを知る。<br>5. 「今日の学習で」を書く。  | ○ 「世界のために働く人たち」を紹介する。<br>○ 総合的な学習の時間「自分たちにできること」につなげる。  |